

平成25年度
京都府立城陽支援学校 特別支援教育研修会
実施要項

日 時	平成25年7月26日(金) 13:00開始 (12:30受付開始)
場 所	文化パーク城陽 ふれあいホール
対 象	保育園(所)・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教職員 教育関係機関等
定 員	250名

日 程

12:30	受付開始		
13:00	開会 開会挨拶		
13:10	講演 「作業療法の視点から見る『読み・書きの苦手さ』(発達障害)への支援」 松島 佳苗 氏 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 リハビリテーション科学コース作業療法学講座 助教 作業療法士 本校地域支援センター「サポート」OYO」巡回相談員		
14:10	重心教育部・病弱教育部・通学高等部の実践紹介 <重心教育部> iPadを活用した実践 <病弱教育部> 病弱通級指導教室 <通学高等部> 地域の特別支援学級との連携		
14:25	休 憩		
14:40	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>パネルディスカッション コーディネーター * 有賀 やよい 氏 精神科医、本校校医 京都府立心身障害者福祉センター 附属リハビリテーション病院 精神科・神経内科嘱託医</p> </td> <td style="width: 50%;"> <p>コメンテーター * 後野 文雄 氏 京都府総合教育センター 人材育成支援室チーフアドバイザー 府専門家チーム * 松島 佳苗 氏 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 助教 作業療法士、本校地域支援センター巡回相談員 * 「サポート」OYO」地域支援コーディネーター</p> </td> </tr> </table> <p>発達に偏りを持つ子どもには、『不器用さ』『体のバランスの悪さ』を併せ持つ子どもが少なくありません。読み書きが苦手な子には、『反復練習』が逆効果になることも多いです。読み書き・漢字の苦手さの背景には、感覚の統合の弱さもみられます。読み書きの苦手さ、注意の集中困難な児童生徒に対して、作業療法の視点によるアセスメントの方法、具体的な支援のあり方について、本校巡回相談員としての相談活動や、また、多くの臨床の場で発達障害の方の作業療法を行ってられる作業療法士の松島佳苗先生からお話ししていただきます。</p> <p>さらに、参加された方々からの質問や意見等も踏まえながら、医療・教育等のそれぞれの立場から二次的な障害を予防する支援等についてディスカッションをしていただき、発達障害のある子どもの理解と支援について考えます。</p>	<p>パネルディスカッション コーディネーター * 有賀 やよい 氏 精神科医、本校校医 京都府立心身障害者福祉センター 附属リハビリテーション病院 精神科・神経内科嘱託医</p>	<p>コメンテーター * 後野 文雄 氏 京都府総合教育センター 人材育成支援室チーフアドバイザー 府専門家チーム * 松島 佳苗 氏 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 助教 作業療法士、本校地域支援センター巡回相談員 * 「サポート」OYO」地域支援コーディネーター</p>
<p>パネルディスカッション コーディネーター * 有賀 やよい 氏 精神科医、本校校医 京都府立心身障害者福祉センター 附属リハビリテーション病院 精神科・神経内科嘱託医</p>	<p>コメンテーター * 後野 文雄 氏 京都府総合教育センター 人材育成支援室チーフアドバイザー 府専門家チーム * 松島 佳苗 氏 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 助教 作業療法士、本校地域支援センター巡回相談員 * 「サポート」OYO」地域支援コーディネーター</p>		
16:10	閉会の挨拶		
16:15	閉会		